



2 重点戦略 5つの誇りと挑戦

熊本市は、既存の政令指定都市にはない多くの特徴を持つ都市です。

私たち市民は、その特徴に「誇り」を感じながら暮らすとともに、それらの魅力をさらに向上させ、次の世代に引き継ぐ責任を担っています。

そこで本市では、固有の資源や都市の特性に基づく「誇り」を政令指定都市としての効果を生かしてさらに高め、めざす政令指定都市の姿を実現するための「挑戦」を、5つの重点戦略として掲げます。

5つの重点戦略

熊本市の固有の資源を生かした
誇りと挑戦

名城を持つ歴史と文化の息づく都市
としての誇りと挑戦

日本一の地下水都市・森の都としての
誇りと挑戦

食の恵みを満喫できる都市としての
誇りと挑戦

熊本市の都市の特性を生かした
誇りと挑戦

九州中央の交流拠点都市としての
誇りと挑戦

だれもが安心して暮らせる政令指定
都市としての誇りと挑戦

また、政令指定都市としての都市ブランド、政令指定都市移行によって拡充される権限・財源、身近な窓口として設置する区役所を活用した施策・事業について、それぞれの重点戦略ごとに主な取り組みとして示します。



◆ 熊本市の固有の資源を生かした誇りと挑戦

名 城を持つ歴史と文化の息づく都市 としての誇りと挑戦

日本三名城の1つである熊本城が400年にわたって見守り続け、歴史や文化が脈々と息づく城下町であるとともに、身近に現代の新しい情報や文化にふれることもできる魅力的な都市であること、そして、そこに暮らす人々は、「もっこす（頑固）」の情熱・「わさもん（新しもの好き）」の感性にあふれた、温かみのある人々であること、これが私たち市民の誇りです。



ストリートアートブックス



熊本城



めざす政令指定都市の姿を実現するために

歴史・文化を生かしたにぎわいや新しい価値の創造への挑戦

熊本市のシンボルである熊本城をはじめ、多くの歴史的文化遺産や観光資源の魅力を国内外に発信していく取り組みを進め、中心市街地や地域商店街、本市に暮らす人々と一体となって、さらなるにぎわいと活気を生み出していくとともに、本市の伝統的な文化や歴史を継承し、多様な都市文化をはぐくみながら、新しい価値の創造に向けて挑戦します。

主な取り組み

(1) 歴史・文化を生かしたにぎわい・活気の創出

- ① 本市の歴史と文化を再認識し、九州各都市と連携しながら国内外に向けて魅力を発信できる事業の展開
- ② 熊本城へのエントランスとして中心市街地の回遊性向上と活性化をめざした市街地再開発事業や公共空間整備の推進

(2) 文化芸術を支える体制づくり

- ① 文化芸術に関わる人々が情報を共有し、交流・連携できる環境の整備
- ② 文化芸術の公演や展示の企画・制作、広報など創り手と受け手をつなぎ、活動を支える人材の育成





◆ 熊本市の固有の資源を生かした誇りと挑戦

目 本一の地下水都市・森の都としての 誇りと挑戦

人口73万人を有する大都市でありながら、その水道水源の100%が清らかな天然地下水でまかなわれている唯一の都市であること、また「森の都」と称される緑がまちなかにあり、生活の身近なところに癒しの空間がある、自然と都市機能が調和した都市であること、これが私たち市民の誇りです。



江津湖



水前寺成趣園



めざす政令指定都市の姿を実現するために

水・緑が豊かな世界に誇れる環境先進都市への挑戦

日常生活において、清らかな天然地下水の恵みや、緑がもたらす自然の癒しを将来にわたって受け続けることができるように、市域を越えた地下水かん養や緑の保全などを進めるとともに、本市に暮らす人はもちろん、訪れる人々すべてが豊かな自然環境の魅力を身近に感じ、親しむことができる環境づくりに取り組むなど、国内外に対して「日本一の地下水都市」・「森の都」としての魅力をさらに発信しながら、世界に誇れる環境先進都市に向けて挑戦します。

主な取り組み

(1) 自然に親しむ環境づくり

- ① 水源かん養林の整備や農地の活用によるたん水事業の推進及び硝酸性窒素の削減対策など、広域的な連携による地下水の保全
- ② 「日本一の地下水都市・熊本」を印象付ける親水空間の創出
- ③ 良好な緑地の保全、民有地や学校をはじめとする公共施設の緑化の推進など、「森の都」にふさわしい新たな緑のスペースの創出

(2) 低炭素都市づくり・資源循環型社会の構築

- ① 太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの利用促進など、温室効果ガス削減に向けた、低炭素都市づくりの着実な推進
- ② 環境負荷の少ない資源循環型社会の構築に向けた、ごみのさらなる減量や分別・リサイクルの拡充

◆ 熊本市の固有の資源を生かした誇りと挑戦

食の恵みを満喫できる都市としての 誇りと挑戦

豊かな自然環境にはぐくまれ、安全性や品質にこだわりながら生産された農水産物は全国でも有数の生産額を誇り、安全でおいしい食の恵みを身近に受けることができる都市であること、これが私たち市民の誇りです。



はまぐり



フードパル熊本 とれたて市



めざす政令指定都市の姿を実現するために

豊かな農水産物を生かした地域産業の創出・活性化への挑戦

生産者と消費者がお互いの顔が見え、支え合う良好な関係を構築することで、農水産業の持続的発展をめざすとともに、農水産物のブランド化を進め、食品加工や販売、観光との連携強化による販路の開拓を進めるなど、食の恵みを満喫できる都市としての魅力を国内外に向けてさらに発信し、豊かな農水産物を生かした地域産業の創出・活性化に向けて挑戦します。

主な取り組み

(1) 農水産業のさらなる振興

- ① 農水産物のさらなるブランド化とともに、高付加価値の加工食品開発と販路開拓をめざした農商工連携の支援
- ② 区役所に農業担当部門を設置し、農業技術・経営の指導や新規就農者を含めた農業従事者の育成にあたるなど、地域の個性や特性を生かした農業の振興

(2) 観光との連携強化

- ① 食の魅力について観光プロモーションを強化するなど国内外への情報発信の機会の拡充
- ② 観光地や飲食店での地元の食材を最大限に生かした、こだわりの食によるおもてなしの充実

◆ 熊本市の都市の特性を生かした誇りと挑戦

九州中央の交流拠点都市としての 誇りと挑戦

九州中央に位置し、明治以来、九州における行政の中心として各種の官庁が置かれ、発展してきた都市であり、政令指定都市移行や九州新幹線鹿児島ルートの特急全線開業によって、熊本都市圏や熊本県をけん引する役割を担いながら、東アジアにも近く、歴史や文化、教育・研究機関が充実した国際的にも魅力的な都市であること、これが私たち市民の誇りです。



新熊本合同庁舎A棟イメージ



熊本駅新幹線口駅舎イメージ



めざす政令指定都市の姿を実現するために

コンベンション機能の強化やおもてなしによる新たな交流の創出への挑戦

コンベンションやスポーツ大会などの誘致やその受け皿の機能強化に取り組み、人や情報の交流を活発化するとともに、観光客をはじめとする本市を訪れる人々に対して、温かいおもてなしの心と多くの本市の魅力を届け、さらなるリピーターの確保や新しい交流の創出に向けて挑戦します。

地域産業の振興や都市間連携強化による九州全体の活力の創出への挑戦

九州中央に位置する地理的優位性と、富含・城南・植木地域が持つ地域資源を最大限に生かした企業誘致などの推進によって地域産業の振興を図るとともに、駅や港、高速道路インターチェンジ、空港といった広域交通拠点のアクセス性を強化し、広域交通網のさらなる整備に向けて取り組むなど、九州各都市との連携強化によって九州全体の活力創出に向けて挑戦します。

東アジアなどとの交流の強化や産学連携の強化による交流拠点都市への挑戦

東アジアなどとの交流を強化することで、海外の情報収集や本市の魅力の発信に積極的に取り組み、交流人口の増加や相互理解を深めるとともに、大学をはじめとする高度な教育・研究機関が充実した環境を生かして、留学生や研究者といった人材や先端技術の開発部門の集積に向けた受け皿づくりに取り組むなど、産学連携のさらなる強化によって地域産業を活性化し、経済成長が著しい東アジアとともに発展する交流拠点都市に向けて挑戦します。



◆ 熊本市の都市の特性を生かした誇りと挑戦

主な取り組み

(1) 観光・コンベンション機能の強化・おもてなしの向上

- ① 国内外の会議やスポーツ大会などの誘致の強化、中心市街地などでのコンベンション機能の拡充
- ② 外国人観光客の誘致を図るための九州各都市と連携した東アジアでの観光プロモーションの強化
- ③ 外国人観光客に対する観光地をはじめ中心市街地や地域商店街など様々な場所でのおもてなしの向上、食事や買い物をしやすい環境の整備

(2) 地域産業の振興・雇用の創出

- ① 国内や発展を続ける東アジアに向けた地場中小企業の販路拡大への支援
- ② 都市ブランドを生かした積極的な企業誘致活動の推進、地場企業の技術力向上や誘致企業との連携強化
- ③ 新技術研究開発や新産業創出に向けた産学連携の強化
- ④ 地域経済の活性化をめざした各業界の若手リーダーの育成・交流の支援



企業誘致説明会



熊本西環状道路イメージ

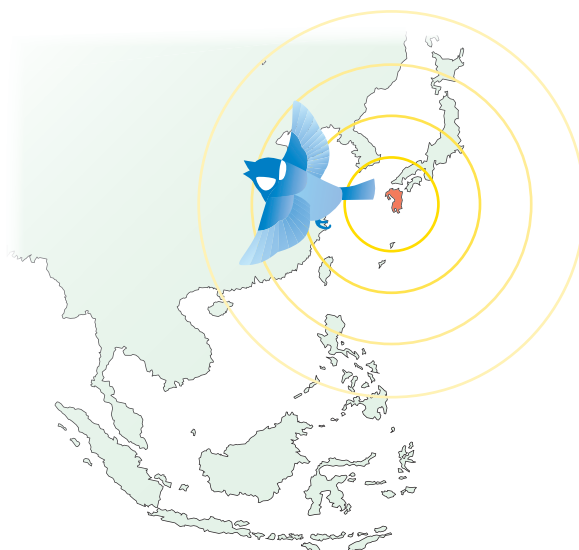


(3) 広域・市域内交通基盤の整備

- ① 熊本の玄関口である熊本駅東口駅前広場・西口駅前広場の整備、路面電車の停留所のバリアフリー化、バスの乗換拠点の整備、「区バス」の運行など、公共交通機関の利便性の向上
- ② スマートインターチェンジの検討を進め、国道3号植木バイパスや中九州横断道路（熊本大津間）整備の促進など、広域交通網の整備
- ③ 熊本西環状道路などの主要幹線道路の整備や国・県道の交差点改良といった地域の実情に応じた道路の整備（国道の一部を除く）

(4) 国際交流の強化

- ① 本市の認知度を高めるためのトップセールスをはじめとした情報発信、国際機関や国内外の政府関係機関などとの連携による情報収集の強化
- ② 東アジアをはじめとする多彩な国際交流の推進や、市民が異文化を理解できる機会の提供など、外国人市民にも暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進
- ③ 留学生の生活・研究・就職に関する大学などと連携した支援の充実
- ④ 留学生をはじめ有能な人材を地域産業が活用できる環境の整備





◆ 熊本市の都市の特性を生かした誇りと挑戦

だれもが安心して暮らせる 政令指定都市としての誇りと挑戦

人口73万人を有する大都市でありながら、地域のつながりが強く、お互いが助け合い、尊重し合う心豊かな地域社会が存在するとともに、医療環境や救急体制が充実しているなど安心して暮らしやすい都市であること、これが私たち市民の誇りです。



身近な窓口



子育て支援



めざす政令指定都市の姿を実現するために

区役所を生かした行政をさらに身近に感じることができる環境の実現への挑戦

区役所を中心とした市民生活に身近なサービスの提供や、各区がお互いに切磋琢磨しながら、自らの地域の個性や特性を生かしたまちづくりを推進できる仕組みをつくるなど、行政サービスや市政をさらに身近に感じることができる環境の実現に向けて挑戦します。

新たな権限を生かした移動しやすい交通環境の実現への挑戦

県からの権限移譲によって、市内道路（国道の一部を除く）を一体的に管理できることから、より迅速で地域実情に応じた整備を進めるとともに、路面電車やバスをはじめとする公共交通機関の利便性を高め、本市に暮らす人はもちろん、訪れる人々すべてが安全で快適に、移動しやすい環境の実現に向けて挑戦します。

新たな権限を生かした安心して暮らすことができる医療・福祉環境の実現への挑戦

充実した医療環境や救急体制の中であって、医療機関などとの連携をさらに強化し、だれもが健康で安心して暮らすことができる環境や、子ども・障がいのある方が、（仮称）こどもセンターや総合保健福祉センター、精神保健福祉センターなどを拠点として、十分に支援が受けられる環境の実現に向けて挑戦します。

新たな権限を生かした子どもの個性や能力を伸ばすことができる教育環境の実現への挑戦

教育環境については、人間的な魅力にあふれ、教育に対する情熱や使命感を持った教職員を採用・育成し、特色ある教育施策を展開するなど、子どもの持つ個性や能力をさらに伸ばすことができる環境の実現に向けて挑戦します。



◆ 熊本市の都市の特性を生かした誇りと挑戦

主な取り組み

(1) 区役所を生かしたまちづくり・市民サービスの提供

- ① 区役所にまちづくり担当部門を設置するなど、地域の個性や特性を生かしたまちづくり活動の推進
- ② 区役所でパスポートの申請をはじめとした多くの手続きができるなど、身近な窓口サービスの充実
- ③ 区役所で国民健康保険の手続きや生活保護の相談、高齢者、障がいのある方への支援を行うなど、さらに身近な保健・福祉サービスの提供

(2) 新たな権限を生かした交通基盤の整備

- ① 熊本の玄関口である熊本駅東口駅前広場・西口駅前広場の整備、路面電車の停留所のバリアフリー化、バスの乗換拠点の整備、「区バス」の運行など、公共交通機関の利便性の向上
- ② 熊本西環状道路などの主要幹線道路の整備や国・県道の交差点改良といった地域の実情に応じた道路の整備（国道の一部を除く）





(3) 新たな権限を生かした福祉サービスの充実

- ① 身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の申請から交付までの期間の短縮
- ② 区役所と身体及び知的障がい者更生相談所や精神保健福祉センターなどの拠点施設の連携による障がいのある方への支援体制の充実、一人ひとりのニーズに合ったきめ細かなサービスの提供
- ③ (仮称)こどもセンターを拠点とした子どもに関する相談体制の充実、子育て支援施策の拡充

(4) 新たな権限を生かした特色ある学校づくりの推進

- ① 多様な教育課題に対応できる人間性豊かな教員の採用・育成、特色ある学校づくりの推進



特色ある学校づくり



路面電車の停留所バリアフリー化

第Ⅲ章 ビジョンの推進に向けて

このビジョンの推進に向けて、次のことを基本として取り組みます。

1 協働と自主自立によるまちづくり

- ① 「熊本市自治基本条例」に基づき、「情報共有」「参画」「協働」による自治を推進します。
- ② 市民との協働によって区ごとにまちづくりのビジョンを策定し、地域の個性や特性を生かしたまちづくりを進めます。

2 効率的で質の高い行政運営

- ① さらなる行財政改革を推進するとともに、政令指定都市移行によって拡充される権限・財源を最大限に生かし、市民の視点に立った効率的で質の高い行政運営を推進します。
- ② 職員一人ひとりの資質向上に努め、幅広い視野を持ち、経営的視点に立って市政を推進できる職員を育成します。

3 市域を越えた広域的連携

- ① 熊本県域をけん引する熊本都市圏のさらなる発展をめざし、熊本都市圏を構成する市町村との連携を強化します。
- ② 九州の中央に位置する政令指定都市として、九州全体の活力創出に向けて、九州各都市との連携を強化します。

